

投資事業評価調書（新規）

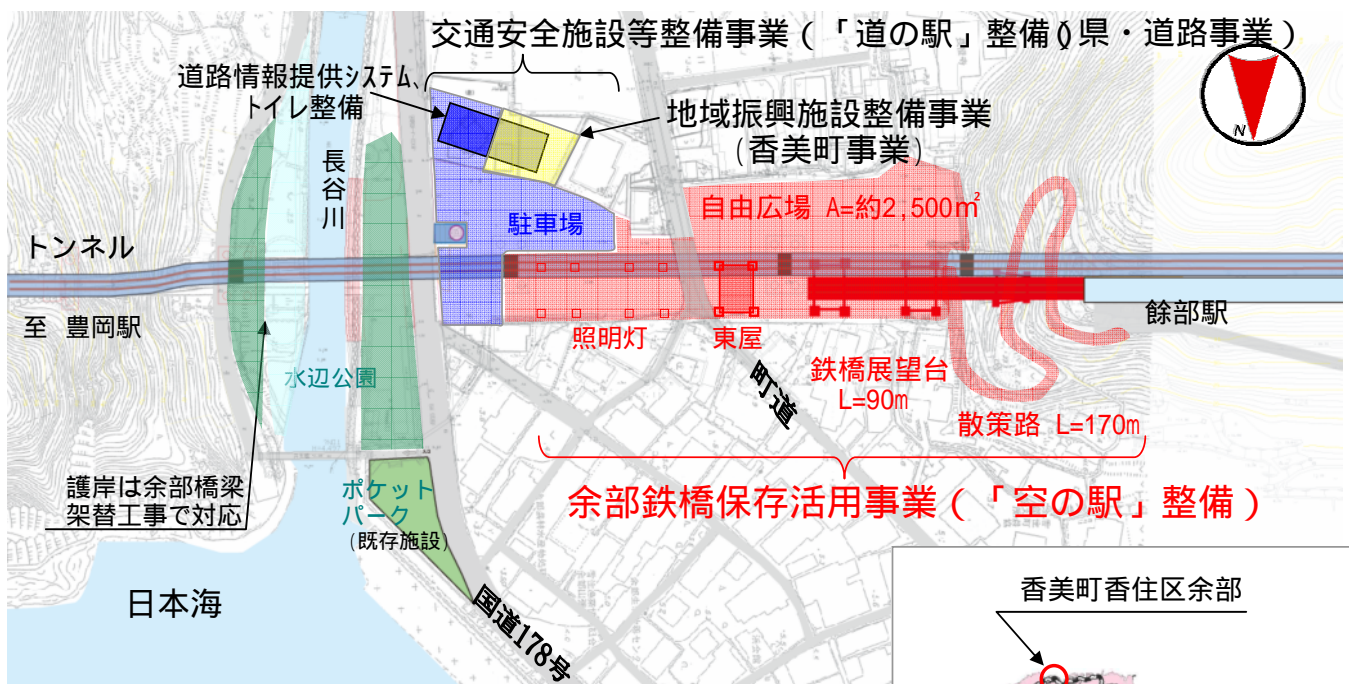
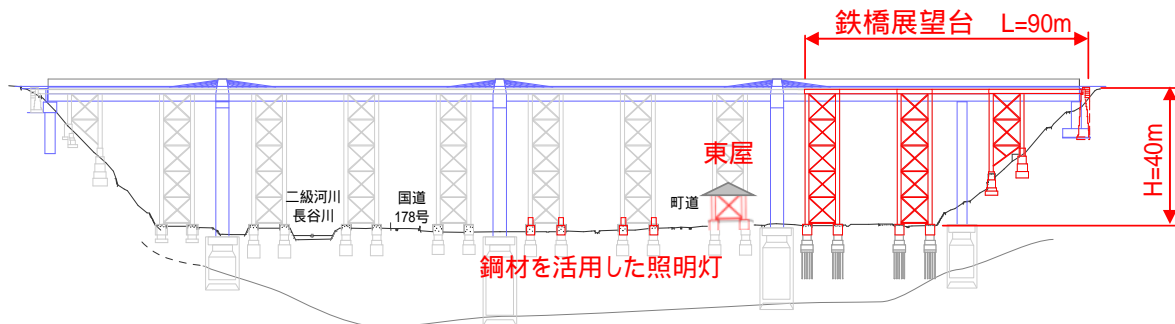
部課室名	県土整備部県土企画局 交通政策課	記入責任者職指名 (担当者氏名)	課長 尾原 勉 (宮永 和幸)	内線	4534 (4540)
------	---------------------	---------------------	--------------------	----	----------------

事業種目	鉄道	事業名	事業区間	総事業費	約2.9億円
		余部鉄橋保存活用事業 (「空の駅」整備)	香美町香住区余部地内 (A=約2,500㎡)	内地 補償費	0.4億円
所在地				着手予定年度	完成予定年度
美方郡香美町香住区余部				平成22年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
<p>平成19年3月余部鉄橋利活用検討会からの提言を踏まえ、約100年間山陰本線の運行を支えてきた余部鉄橋の歴史や列車転落事故の教訓を後世に継承するため、現余部鉄橋の余部駅側3橋脚3スパンを現地に保存し、新たに展望台として活用することにより、人々の交流を促し、地域の活性化を図る。</p>			<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現鉄橋保存工事 L=90m、H=40m ・鉄橋展望台 L=90m ・自由広場 約A=2,500㎡ ・散策路 L=170m 等 <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設等整備事業(「道の駅」整備)：県・道路事業 ・道の駅地域振興施設整備事業：香美町 		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>地域ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余部鉄橋は日本有数のトレスル式鉄橋で、但馬地域の貴重な観光資源であること、Aランクの近代土木遺産であることから、保存を求める声が寄せられている。 （(社)土木学会土木史研究会から余部鉄橋対策協議会会長である兵庫県知事に対し、「余部橋梁の保全的活用に関する要請」が提出された。 ・平成21年3月、地元住民も構成員である余部鉄橋利活用検討会から、鉄橋の一部保存と活用を中心とする「余部鉄橋の保存と再出発に向けた提言」が提出された。 ・地元住民で構成する「明日の余部を創る会」から、地域活性化に向け現鉄橋の保存活用を強く要望されている。 <p>地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現鉄橋の一部保存や道の駅整備（関連事業）を行うことにより、集客効果が期待でき地域の活性化が図れる。 <p>安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展望台からの落下物に十分配慮した転落防止柵を設置し、安全・安心を確保する。 			
(2)有効性・効率性					
有効性					
効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・学識者、行政、地元住民等で構成する余部鉄橋利活用検討会からの提言を受けて実施するもので、近代土木遺産である余部鉄橋のスケール感と存在感を後世に継承する有効な手段である。（鉄橋の一部現地保存について、土木学会（土木史研究会）からも了解を得ている） ・新橋梁架替後も、本事業により但馬地域の観光スポットとして地域活性化が期待できる。 <ul style="list-style-type: none"> 撤去保存活用施設の見学者の予測 浜坂道路開通前：約17万人/年、開通後（H28）：約3万人/年 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・新橋梁のツブなデザインを乱すことのないよう、余部駅側の3橋脚を現地保存する。 ・撤去鋼材を最大限再利用（リユース）し、東屋や照明灯を設置する。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年秋、新橋梁に架替わると同時に現鉄橋が鉄道橋としての役割を終えることになるが、それと同時に本事業に着手することで事業効果を最大に発揮できる。 ・交通安全施設等整備事業（「道の駅」整備）（県・道路事業）、地域振興施設整備事業（香美町が実施）と同時に着手し、H24の同時完成を目指す。 			

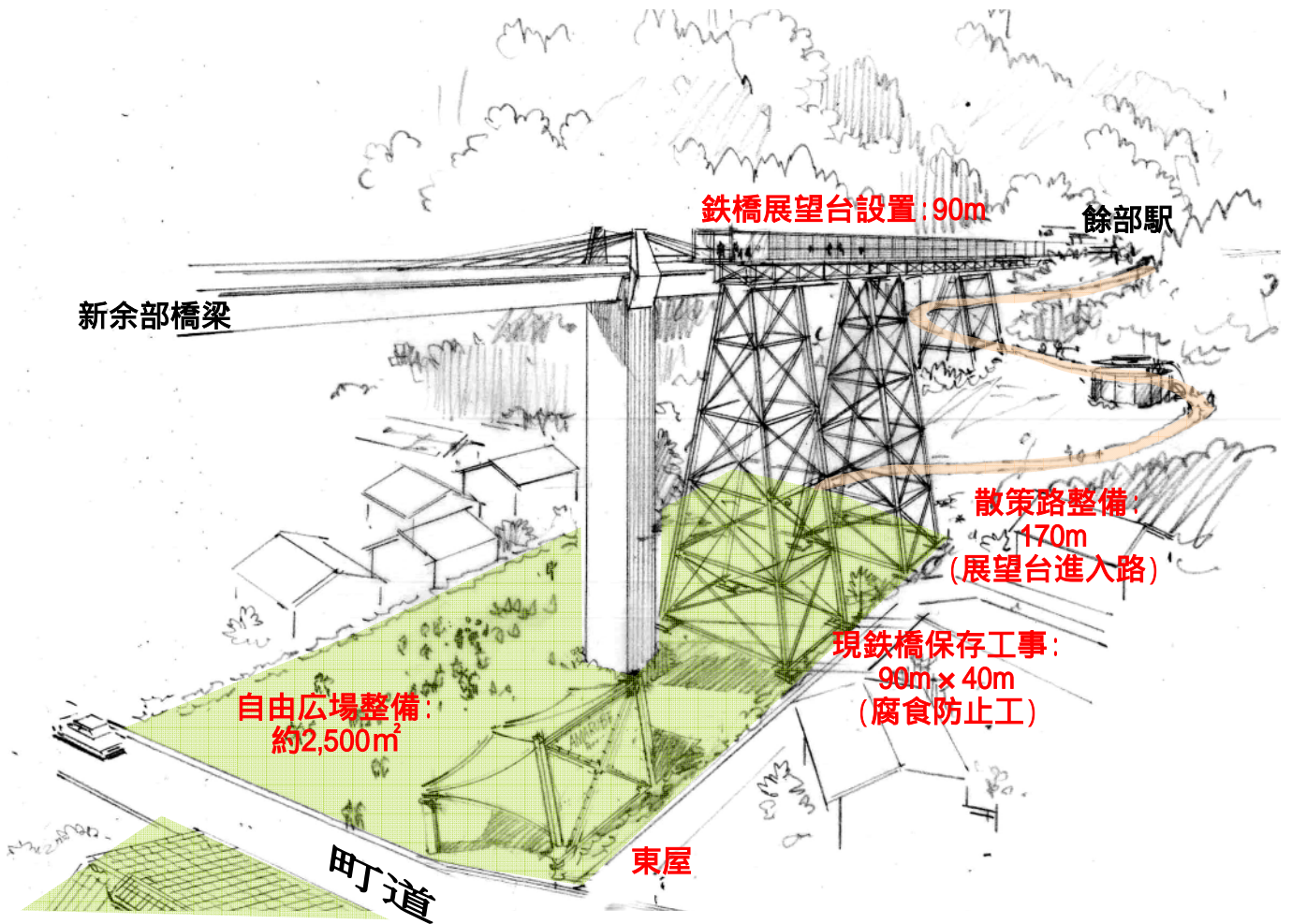
概要図

余部鉄橋保存活用事業 等 (美方郡香美町香住区余部)

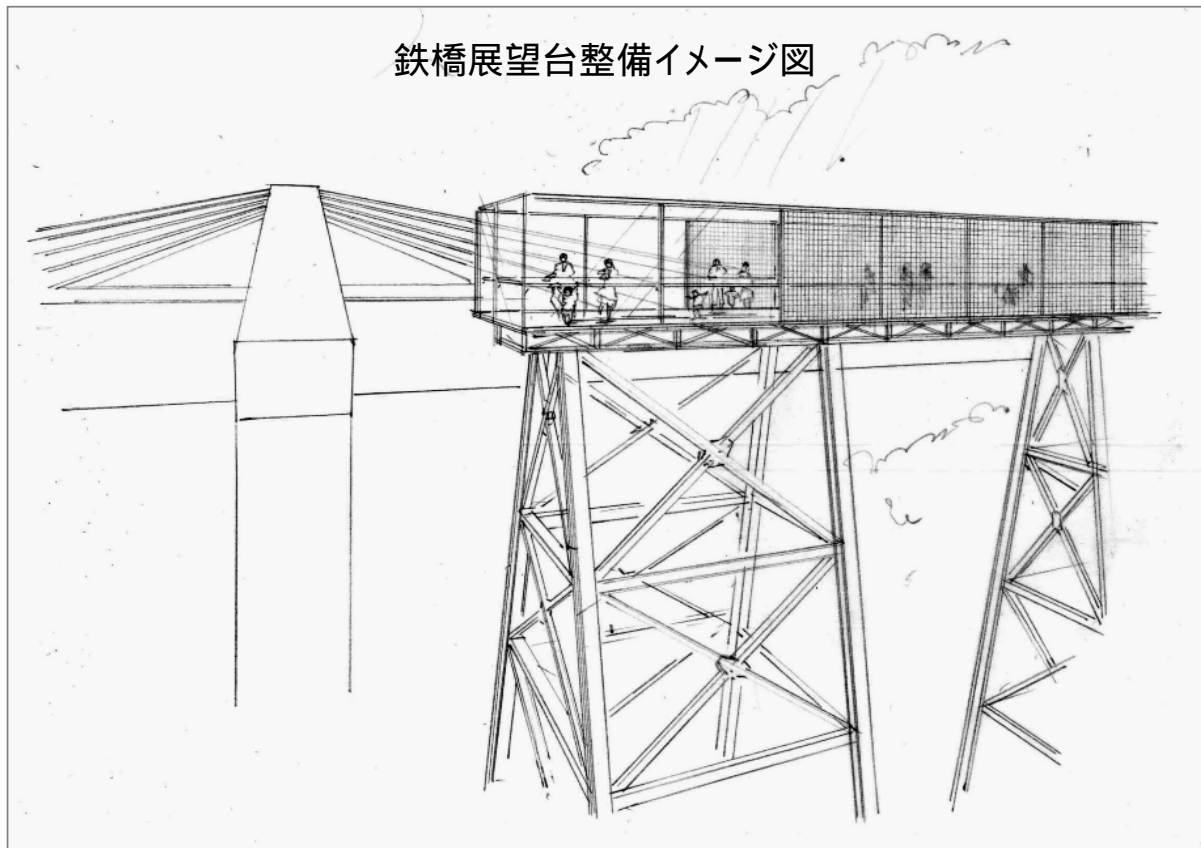
撤去 8 橋脚 現地保存 3 橋脚 3 スパン



整備内容



鉄橋展望台整備イメージ図

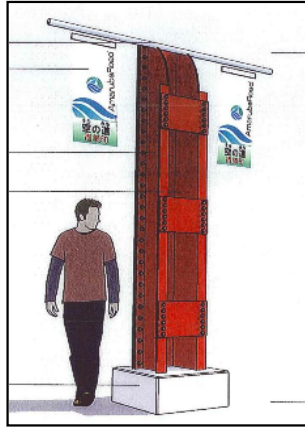


撤去鋼材の活用(アイデアコンペ入賞作品)

優秀賞：街灯 空あかり

- ・太陽光を利用した灯りとともす。
- ・上部に旗を付ける。

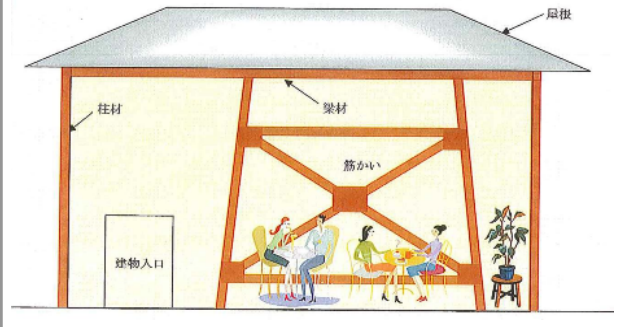
広場照明として 実現化



特別賞：道の駅の構造材として利用

- ・構造材として利用できない場合は飾り材とする。
- ・インテリアのポイントとする。

東屋として実現化



事業スケジュール

	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
余部橋梁架替事業					
橋梁本体工	—————●			新橋梁への切替え	
旧橋撤去工			—————		
余部鉄橋保存活用事業(「空の駅」整備)					
設計			—————		
用地買収			—————		
現鉄橋保存工事 L=90m H=40m				—————	
鉄橋展望台設置 L=90m				—————●	
散策路整備 L=170m				—————●	
自由広場整備 A=2,500㎡				—————●	
交通安全施設等整備事業(「道の駅」整備) (県・道路事業)					
設計			—————		
用地買収			—————		
工事(簡易パーキング、右折車線 等)				—————●	
道の駅・地域振興施設整備事業(香美町)					
設計			—————		
用地買収			—————		
工事				—————●	

3事業(空の駅・道の駅)を同時に供用開始

赤文字:余部鉄橋保存活用事業

黒文字:関連事業